

マーケットイン輸出ビジネス拡大緊急支援事業のうち  
**品目団体輸出力強化緊急支援事業**

【令和3年度補正予算額 4,100百万円】

＜対策のポイント＞

品目団体が輸出重点品目についてオールジャパンで行う、ポストコロナの市場変化等への迅速な対応や、海外販路開拓・市場調査等の早急な輸出力強化に向けた取組を支援します。

＜事業目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円 [2025年まで]、5兆円 [2030年まで]）

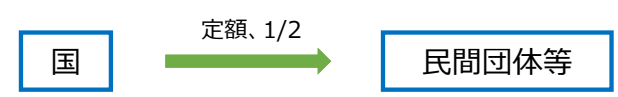
＜事業の内容＞

輸出重点品目（牛肉、コメ、りんご、ぶどう、茶、かんしょ、製材、ぶり、ホタテ貝等）について、品目団体※が、ポストコロナの市場変化等へ迅速に対応し、輸出拡大に繋げるため、自ら作成した輸出拡大計画に沿って行う、業界関係者全体の輸出力の強化につながる取組を、以下のメニューにより支援します。  
 ※生産から販売まで輸出に関する業界の関係者を広く含み、オールジャパンで輸出拡大に取り組む全国団体

＜支援メニュー例＞

- ①輸出ターゲット国の市場調査・規制調査
- ②海外におけるジャパンブランドの確立
- ③業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等
- ④海外における販路開拓活動
- ⑤輸出促進のための規格の策定・普及
- ⑥国内事業者の水平連携に向けた体制整備
- ⑦輸出手続きや商談等の専門家による支援
- ⑧新規輸出国開拓に向けた調査及び輸送試験

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

- ①-例 ・ポストコロナの市場動向の変化に関する調査  
 ・高耐久木材や木質建材等の製品規格・流通規制に関する調査
- ②-例 ・日本産米の差別化に向けた他国産米との比較調査及びPR活動
- ③-例 ・多言語対応食肉ラベルシステムの開発  
 ・かんしょの輸送時の腐敗防止技術の実証・普及
- ④-例 ・ブローカー設置、バイヤー向けセミナーの開催、品目専門見本市への出展、海外バイヤーの招聘等  
 ・コロナによる消費形態の変化、デリバリーによる買い物の定着に対応した、現地での消費者向けPR、販売促進等
- ⑤-例 ・輸送資材や温度管理等、相手国ニーズへの対応に必要な規格やマニュアル等の策定に向けた検討  
 ・策定した規格やマニュアル等の普及に向けた研修の実施や実装に必要な認証取得等への支援
- ⑥-例 ・リレー出荷や大ロット確保に向けた、出荷時期・量・有機対応等の産地データベースの構築等
- ⑦-例 ・青果物輸出促進コーディネーターを設置し、産地の課題に対応可能な専門家と産地のマッチングによる課題解決を支援



【お問い合わせ先】 輸出・国際局輸出企画課 (03-6744-1779)